

令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1

12月補正（追加）

事 項	山鳥坂ダム建設費負担金										予算主管課		河川課							
事 業 概 要	肱川流域は、洪水により頻繁に浸水被害が発生していることから、流域全体で行う複合的な対策の一つとして、流域の治水安全度の向上を図るため、国が行う山鳥坂ダム建設事業への負担金を支出する。										始期		S61							
											終期		R14							
K P I	山鳥坂ダム建設事業進捗率（事業費ベース）																			
	KPI種別	上がると良い指標			R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度						
	時点・期間	R5年度見込			時点・期間	R5年度			時点・期間	R6年度			時点・期間	R7年度			時点・期間	R8年度		
	現状値	47.8 %			目標値	47.8 %			目標値	51.7 %			目標値	58.1 %			目標値	65.1 %		
					実績値	47.8 %			実績値	%			実績値	%			実績値	%		
					達成率	100.00 %			達成率	%			達成率	%			達成率	%		
コ ス ト				最終現計予算額	1,851,587 千円			最終現計予算額	千円			最終現計予算額	千円			最終現計予算額	千円			
				決算額	1,851,471 千円			決算額	千円			決算額	千円			決算額	千円			

5

年度

要 因 分 析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）														
	総括（事業最終年度の場合、要記入。）														
見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 令和 5 年度のKPIの実績は想定通りであり、令和 6 年度以降も重要要望などを通して国に積極的に要望することによりKPIは目標達成すると見込まれることから、見直しは想定していない。													

2

当初

事 項	民活河床掘削推進事業費										予算主管課		河川課							
事 業 概 要	河川に土砂が堆積し、治水機能が低下している箇所のうち、盛土材等として有効利用が見込まれる箇所について、土砂の採取を希望する企業等を支援することにより、民間活力を導入した効率的な河床掘削を推進し、流下能力の維持・回復を図る。										始期		H20							
											終期									
K P I	民間企業による撤去土砂量																			
	KPI種別	上がると良い指標			R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度						
	時点・期間	R3年度			時点・期間	R5年度			時点・期間	R6年度			時点・期間	R7年度			時点・期間	R8年度		
	現状値	20408 m3			目標値	40000 m3			目標値	40000 m3			目標値	40000 m3			目標値	40000 m3		
					実績値	6700 m3			実績値	m3			実績値	m3			実績値	m3		
					達成率	16.75 %			達成率	%			達成率	%			達成率	%		
コ ス ト				最終現計予算額	20,000 千円			最終現計予算額	千円			最終現計予算額	千円			最終現計予算額	千円			
				決算額	18,268 千円			決算額	千円			決算額	千円			決算額	千円			

5

年度

要 因 分 析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）														
	民間企業からの土砂採取の需要が想定以上に少なく、未達成となった。														
	総括（事業最終年度の場合、要記入。）														
見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5 年度の目標達成率が想定よりも低調であったが、今後の推移は社会情勢等にも左右されるため、6 年度の執行方法や7 年度予算の見直しは想定していない。													

13

当初

事 項	県単河床掘削事業費										予算主管課		河川課		
事 業 概 要	河川に土砂が堆積し雑木等が繁茂するなど、治水機能が低下している箇所において、河床掘削や雑木等を除去し、流下能力を速やかに回復させ浸水被害の防止・軽減を図る。										始期				
											終期				
K P I	土砂堆積箇所実施率（事業費ベース、年間）														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	時点・期間	R3年度		時点・期間	R5年度		時点・期間	R6年度		時点・期間	R7年度		時点・期間	R8年度	
	現価値	72	%	目標値	70 %		目標値	70 %		目標値	70 %		目標値	70 %	
				実績値	78.9 %		実績値	%		実績値	%		実績値	%	
				達成率	112.71 %		達成率	%		達成率	%		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計予算額	226,201 千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円	
決算額				220,549 千円		決算額	千円		決算額	千円		決算額	千円		

5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）													
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）													
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度の実績は目標を達成しており、近年の実績や6年度以降の状況を踏まえると、今後も目標達成すると見込まれることから、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。												

14

2月 補正	事 項	【 牒川水系緊急治水対策推進事業費(公共)(直轄) 】										予算主管課		河川課		
	事 業 概 要	牒川水系の治水対策について、激特事業により従来の整備計画（平成16年5月）の目標を10年前倒しするとともに、平成30年7月豪雨を踏まえて見直した計画（令和元年12月）に基づく対策を、国と連携して緊急的・集中的に実施し、再度災害防止を図る。										始期		H30		
												終期		R10		
	K P I	堤防整備完了で安全性が向上した工区数（激特事業の12工区はR5年度完了）														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		時点・期間	R4年度		時点・期間	R5年度		時点・期間	R6年度		時点・期間	R7年度		時点・期間	R8年度	
		現状値	0	工区	目標値	12 工区		目標値	12 工区		目標値	12 工区		目標値	13 工区	
					実績値	3 工区		実績値	工区		実績値	工区		実績値	工区	
					達成率	25.00 %		達成率	%		達成率	%		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計予算額	7,256,385 千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円		最終現計予算額	千円	
決算額					7,256,374 千円		決算額	千円		決算額	千円		決算額	千円		
5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）														
		※終期短縮（R10→R5）R4年度下半期からR5年度下半期にかけて牒川激甚災害対策特別緊急事業が工事のピークを迎え、直轄・県事業とともに短期間に工事が集中したことによる労働需要の急増から、必要人員を確保することができなかったため、工事進捗が伸び悩み未達成となった。														
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）														
5 年 度	見直し方向性	牒川激甚災害対策特別緊急事業については、R6年度にずれ込んではいものの12工区全て完成予定である。今後は、河川改修費と統合し、激特事業以外で本事業の対象となっていた箇所について、令和10年度を目標に整備を進めていくこととしている。														
		見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））														